

れきはく NEWS

vol.55
2022.JUN

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 開館15周年記念特別展
「ハニワの世界へようこそ」
- 4 展覧会通信
- 5 れきはく通信
- 6 古代文化センター通信
- 7 SHOP INFORMATION
ミュージアムカフェ maru café
- 8 れきはくごよみ

古代人が生んだゆるカワ文化。



両手を挙げる女子
松江市・岩屋後古墳
(東京国立博物館蔵)
Image: TNM Image Archives



鹿【重要美術品】
鳥取県・土下213号墳(鳥取大学蔵)
鳥取県立博物館保管

ハニワの世界へ

開館15周年記念特別展

welcome to HANIWA world.

令和4年 7月1日(金) → 8月28日(日)



会期 令和4年7月1日(金)～8月28日(日)

◎開館時間／9:00～18:00 ◎会期中の休館日／7月19日(火)・8月2日(火)

会場 島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

主催 島根県立古代出雲歴史博物館

特別協力 国立文化財機構 文化財活用センター、東京国立博物館

日本書紀には、出雲国出身の野見宿禰が、殉死に代わり人や馬などの「土物（はにもの）」を墓に立てるよう進言した、という説話があります（垂仁32年7月己卯条）。この逸話は、野見一族が土師臣を名乗ったいわれを語るもので、考古学的事実とは必ずしも一致するものではありません。しかし、埴輪と出雲との間に少なからず縁があったことはまちがいないでしょう。

古墳上に埴輪を立て並べる習慣は、前方後円墳が全国的に築造されはじめるのにあわせて各地に広まりましたが、出雲地域では4世紀の終わり頃、最初の埴輪が登場します。そして時代を経る中で、人物や動物、様々な器物をかたどった埴輪が生まれ、表情豊かで多彩なものへと変化しました。

この展覧会では、山陰出土の形象埴輪を中心に、人物や動物などをかたどった様な埴輪を展示します。制作時期や地域による特徴や違い、といった考古学的な点だけでなく、個々の埴輪が持つ造形としての面白さにも注目してください。

さあ、この夏はハニワの世界を探検してみましよう。

4世紀終わり頃、出雲地域で最初に作られた埴輪の一つで、逆三角形の透かし孔を持つ。

【県指定文化財】円筒埴輪
松江市・上野1号墳（島根県埋蔵文化財調査センター蔵）



馬の埴輪として最も著名なものの一つで、かつて切手のデザインにも採用された。華麗な馬具をまとう「飾り馬」を表現している。

【重要文化財】馬
埼玉県熊谷市出土（東京国立博物館蔵）
Image：TNM Image Archives

ハニワの世界へようこそ

【開館15周年記念特別展】



大刀
栃木県・市塙横塚1号墳（市貝町教育委員会蔵）

ゆるカワ埴輪が 続々登場!!!

かわいい！おもしろい！
なんだか分からない！
ゆるカワ埴輪の世界を
満喫してください。



【重要美術品】鹿
鳥取県・土下213号墳
（鳥取大学蔵・鳥取県立博物館保管）



【大山町指定保護文化財】猿
鳥取県・ハンボ塚古墳
（大山町蔵）

25年ぶりの 里帰り！



明治時代に松江市内の古墳から出土
した人物埴輪4体が、久しぶりに
帰ってきます。

両手を挙げる女性・巫女
松江市・岩屋後古墳（東京国立博物館蔵）
Image：TNM Image Archives

●新型コロナウイルス感染症の状況により、
日程や内容等が変更になる場合があります。
最新の情報は当館ホームページをご覧ください。



こちらもおすすめ！ 特別展関連催事

関連講座

定員
各60名
参加
無料

第1回

ハニワの世界へようこそ 関東の埴輪（仮）

- 日時／7月2日(土) 10:00～11:30
- 講師／河野 正訓氏
（東京国立博物館調査研究課考古室主任研究員）

第2回

ハニワの世界へようこそ 山陰の埴輪（仮）

- 日時／7月30日(土) 13:00～14:30
- 講師／林 弘幸氏
（益田市教育委員会文化財課 副主任主事）

第3回

ハニワの世界へようこそ 埴輪四方山話（仮）

- 日時／8月6日(土) 10:00～11:30
- 講師／増田 浩太氏
（島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員）

〈会場〉古代出雲歴史博物館 講義室
※オンラインで同時配信します

関連イベント

定員
各回15名

埴輪ストラップを 作ろう！

※同日開催「れきはく夏まつり」で実施します。

- 日時／7月24日(日)
〈午前の部〉10:00～
〈午後の部〉13:00～
- 場所／古代出雲歴史博物館
体験学習棟
- 参加費／400円

ギャラリートーク

定員
各日20名

担当学芸員による 展示解説

- 日時／7月 2日(土) 14:00～15:00
7月30日(土) 10:00～11:00
8月 6日(土) 14:00～15:00

※参加には、特別展観覧券もしくはミュージアム
パスポートが必要です。

関連講座・関連イベント・ギャラリートークに
参加をご希望の方は、
下記の方法でお申し込みください。

- お申し込み方法
電話・FAX・ホームページのイベント参加フォーム
のいずれかで事前にお申し込みください。
- お申し込み先
〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
古代出雲歴史博物館
TEL.0853-53-8600 FAX.0853-53-5350
<https://www.izm.ed.jp>

【個人情報の取り扱いについて】
この申し込みによって収集した個人情報は、島根県の
規定に従って取り扱い、関連イベント・講座開催の目
的のみに利用するほかは、法令に定めがある場合を除
いて、第三者に提供することはありません。

関連講座・関連イベント・ギャラリートークに
参加の際はマスクの着用をお願いいたします

企 画 展

出雲と吉備

◎会期／令和4年10月7日(金)～12月4日(日)

■開館時間／9:00～18:00 (10月31日(月)まで)
9:00～17:00 (11月1日(火)から)

■会期中の休館日／10月18日(火)・11月1日(火)

◎会場／島根県立古代出雲歴史博物館
特別展示室

◎主催／島根県立古代出雲歴史博物館

古代の出雲と吉備は、畿内と北部九州の中間にあって東西交通、対外交渉の窓口として重要な地域であったと考えられています。両地域に独自の文化や政治勢力が生まれた背景には、弥生時代後半に見られる相互の交流のみならず、6世紀後半以降の地政学的な理由があったといえます。

出雲と吉備は、弥生時代に他地域に先駆けて青銅器祭祀から弥生墳丘墓を舞台とする祭祀用土器を使った儀礼へ転換する地域として知られています。吉備で考案された「特殊土器」の分布は、吉備周辺と出雲・大和とその周辺に限られることから、これらの地域は互いに交流を持ちながら独自の文化を発展させ、地域形成を進めていったと考えられます。



【重要文化財】
上塩冶築山古墳出土品 (出雲市蔵)

一方、古墳時代後期以降、朝鮮半島をめぐる東アジア情勢が緊迫化するなか、国家形成をおし進める倭王権にとって両地域はとりわけ重要な地域であったことが、記紀神話や伝承からも読み取ることができます。

本展では、特徴ある二つの時代の出土品を中心に、出雲・吉備地域の形成や統合の過程、地域間交流や王権との関係性を紹介します。時代の画期に大きな役割を果たした両地域の歴史を知ること、これからの地方の在り方を考える機会を提供できれば幸いです。

また、共同研究協定を結ぶ岡山大学文明動態学研究所が欧州研究チームと進める国際共同研究「Be-Archaeo」プロジェクトの成果の一部も併せて紹介いたします。



【国宝】銅鐸
加茂岩倉遺跡
(国(文化庁)所蔵／当館保管)



【広島県指定文化財】
特殊器台形土器
貝ヶ原遺跡 (尾道市蔵)



陶棺
定北古墳
(真庭市教育委員会蔵)

丁銀と古地図からたどる「銀の島」

石見銀山世界遺産登録15周年記念ミニ企画



ティセラ日本図

◎会期／令和4年5月18日(水)～8月1日(月)

※期間中の休館日は6月21日(火)、7月19日(火)です。

◎会場／島根県立古代出雲歴史博物館
常設展示室内(テーマ別展示室)

◎料金／常設展の入場料金(一般620円、大学生410円、小中高生200円)でご覧いただけます。

今年、令和4年(2022)は石見銀山遺跡が世界遺産に登録されてから15周年にあたります。16世紀以降、海外でも流通した日本の銀は、当時の西洋の人々に大きな影響を与え、日本は「銀の島」と呼ばれた時代もありました。

このたびの展示では、館蔵の石見銀山関連コレクションのうち、「銀の島」を象徴する銀貨幣(丁銀)、当時の西洋人が日本をどのように認識していたのかがわかる古地図などを展示します。特に丁銀は資料保護のため通常はレプリカのみでの展示ですが、特別に期間限定で実物を展示します。この機会にぜひご覧ください。世界的にインパクトをもたらした日本の銀に想いを馳せていただければ幸いです。



御取納丁銀(後期のみ)

展示品

(すべて館蔵品)

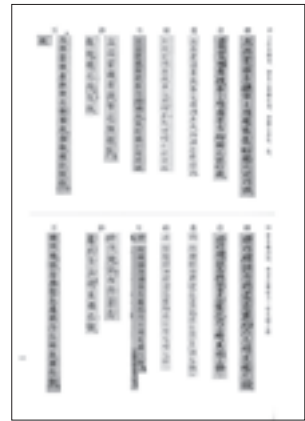
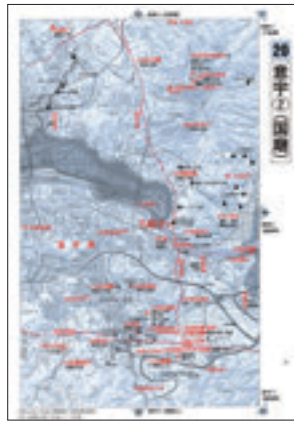
丁銀に関しては原品保護のため、前期と後期で展示替えを実施します。前期は5月18日～6月25日、後期は6月26日～8月1日の予定です。

- ①オルテリウス 鞆鞆図(16世紀)
- ②オルテリウス 東インド図(16世紀)
- ③ファン・ラングレン 東アジア図(16世紀)
- ④オルテリウス アジア図(16世紀)
- ⑤ティセラ 日本図(16世紀)
- ⑥ダッドレー 日本図(17世紀)
- ⑦沢潟丁銀(17世紀) ※前期のみ
- ⑧灰吹銀(16～17世紀) ※前期のみ
- ⑨御取納丁銀(16世紀) ※後期のみ
- ⑩御公用丁銀(16世紀)
- ⑪文禄石州丁銀(16世紀)
- ⑫石州丁銀・切銀(17世紀) ※前期のみ
- ⑬慶長丁銀・豆板銀(17世紀) ※後期のみ
- ⑭金銀図録(19世紀)

◎島根県古代文化センターの調査研究・情報発信事業について

島根県古代文化センター
刊行物ののご案内

古代文化センターでは、昨年度以下の3冊の書籍を刊行しました。『出雲国風土記』は一般書店で購入できます。『中世石見における在地領主の動向』『しまねの古代文化』は島根県文化財愛護協会（連絡先：0852-22-6612 島根県教育庁文化財課内）にて販売しています。



●『出雲国風土記 地図・写本編』

平成4年の古代文化センター開設以来調査を続けてきた『出雲国風土記』についての研究成果をまとめたものです。地図編は、『風土記』に記載された郡や郷、山・川・寺院・神社などについて、推定される所在地を大縮尺の地図の上に記したものです。写本編は最古の写本である細川家本をはじめとする重要写本を網羅し、その写真を一行毎に並べたものです。本書をみる

ことで、解釈の元となっている『風土記』の文章が実際にどのように書かれているのか、その原典を一目で確認することができます。このほかに『風土記』に記載された交通路についての中村太一氏の特論を収録しています。

※本書に『風土記』本文の解説は収録されていません。
(A5版 638頁／税込価格8,800円)



●『中世石見における在地領主の動向』

中世を通じて石見国（島根県西部）に並び立った武士、吉見氏と益田氏。室町幕府・将軍や大内氏・毛利氏ら周辺の大名との関係をどのように活かして、戦乱の世を生き抜いたのか。両氏の動向を解き明かしていくとともに、東アジア海域世界との盛んな交流・交易を視野に入れて、両氏が基盤とした石見国西部の地域性も論じた研究報告書です。論文20本と資料集成3本を掲載しています。
(A5版 256頁／税込価格2,000円)

●『しまねの古代文化 29号』

江戸後期から昭和初期に行われた「出雲」についての研究や論争を紹介した原武史先生の講演「〈出雲〉という思想～抹殺された出雲の神々～」、また戦国大名尼子家の「御一家再興」戦争と石見国最大の武士団益田氏の歴史について検討した「島根の戦国時代」ほかを収録しています。
(A5版 111頁／税込価格1,000円)



▶ハニワグッズ大量入荷！

こんにちは！古代出雲歴史博物館のショップです！
 歴博では、開館15周年記念特別展「ハニワの世界へようこそ」を、7月1日(金)から8月28日(日)まで、開催予定です。

当店では、山陰地方だけでなく、全国で発掘されたハニワのレプリカを取り揃え販売いたしております。

表情豊かで多様なハニワは、インテリアにも良く、その単純な姿を眺めていると、心が癒され、見る人の心の内を表しているような錯覚さえ覚えます。

素焼きの物から、ぬいぐるみ、キーホルダーに至るまで、各種、各大きさを、取り揃えました。

併せて、縄文時代の土偶から古墳時代後期のハニワまで、色々の品を並べて、皆様をお待ちしております。是非この機会に、お出かけくださいませ。



ご来館の記念に
買ってね！



ミュージアムカフェ
maru café

暑い季節にピッタリ！
夏メニュー登場！

こんにちは！ミュージアムカフェ「maru café」です。
 まもなく暑い夏がやってきますね！夏の到来に合わせて「maru café」では夏メニューをご用意いたしました。まずはマンゴーアイスとゼリー、パイナップルの組み合わせで真夏の太陽をイメージした「トロピカルパフェ」。マンゴーアイスとマンゴーゼリーのとろける甘さとパイナップルの爽やかな酸味にひんやりソフトクリームが加わって、暑い夏にピッタリなスイーツ

となっています。カフェで一番人気の「しまね和牛カレー」もリニューアル。夏にぴったりの色合いで夏仕様になりました。またスパイシーな味と香りが食欲を誘う大人の夏野菜カレー「夏の古墳スパイシーカレー」もご用意しました。

そして、7月1日から開催される特別展「ハニワの世界へようこそ」に合わせて限定メニューも登場します。お楽しみに!!



暑い夏にピッタリ！
真夏の太陽をイメージした
トロピカルパフェ



一番人気メニューが
夏仕様にリニューアル！
しまね和牛カレー



古墳型のライスがユニーク！
大人の夏野菜カレー
夏の古墳スパイシーカレー

れきはく ごよみ

令和4年度
イベントスケジュール
REKIHAKU EVENTS SCHEDULE

10/16

日

秋の体験学

「れきはく秋まつり」



風土記の庭で秋の一日を満喫してください。歴博ならではの体験をご用意しています。

6/17

金

体験水田 古代米の田植え



出雲農林高校の生徒とたいしゃ保育園の園児の皆さんが一緒になって古代米の田植えを行います。

10月
中旬

体験水田 古代米の稲刈り



6月に植えた古代米を古代の農具を使って収穫し、はで干しをします。

7/24

日

夏の体験学

「れきはく夏まつり」



お子さんが楽しめる様々な体験イベントをご用意して皆さまの参加をお待ちしております。



1/1・1/2・1/3

日祝

月

火

れきはく
新年まつり

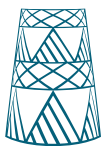


凧あげやこま回しなど、正月ならではの遊びで楽しんでいただけます。

●日時や内容は変更になる場合があります。詳しくは内容が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。

※写真はイメージです。

どこ行く? れきはく!



島根県立古代出雲歴史博物館

Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4

TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350

[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp

開館時間/9:00~18:00(11月~2月は9:00~17:00)

休館日/第3火曜日(変更の場合有り)



マスコットキャラクター
雲太くん



発行/令和4年6月



マスコットキャラクター
出雲ちゃん